

平成28年度「横浜市総合防災訓練」実施結果について(報告)

平成28年度「横浜市総合防災訓練」が林横浜市長を迎え、警察、消防、自衛隊および関係団体の参加により、横浜市民370万の地震災害などから市民を守るための救出、救助活動、消火活動訓練、避難所開設運用訓練、ライフ・ラインの復旧訓練など多岐にわたり猛暑の中で訓練が実施されました。日本防災士会横浜支部は、展示・体験ブースを担当しました。実施結果を下記のとおり報告いたします。

日 時 2016年(平成28年)8月21日(日) 10:00～12:00

場 所 横浜市立中村小学校 横浜市南区中村町4-269

参加者 日本防災士会横浜支部:5名(今井・徳江・長沼・山田・飛田)

訓練内容

防災士横浜支部においては、展示・体験ブースを担当し、体験ブースは中村小学校にセットされたダンボール・ベットやダンボールで区画された二人用、5～6人用の区画された避難所体験訓練に参加した人たちに実際に体験して頂き、感想や質問に対応いたしました。

林横浜市長も体験ブースに来られて段ボールベットに横になり「確かによく出来ていますね」、寝心地も大変良いです。と話していました。家族連れや、お年寄りも腰をかけたたりして、テレビなどでは判らないが、こうして実際に腰を下ろしたり、寝転がってみると頑丈に出来ていると感心しておりました。段ボールで区画された部屋についても結構広くて、座ってみれば周りから見えないし、ある程度のプライバシーは確保出来るのではないかと話しておりました。一般参加者おおよそ100名の方がこのブースを体験しました。

横浜市総合防災訓練現場写真



今回、横浜市総務局危機管理室・緊急対策課からの参加要請を受け、初めての参加になりましたが、この訓練の評価により、今後の横浜市における各種防災訓練に参加の要請が期待されます。大いに日本防災士会横浜支部を前面に出して防災士の活動を広げて行きましょう。(報告者:支部長 今井 淳)